

就学前教育・保育推進計画

1 園運営の充実

2 教育・保育の充実

はじまりは乳幼児期から
～生きる力の基礎を培う教育・保育～

3 子育て支援の充実

4 保育者研修の充実

I 推進施策

1 園運営の充実	(1) 教育・保育の質的向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実	(2) 園運営の改善を図る学校（園）評価の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ① 3要領・指針を踏まえ、園目標及び重点目標の実現を目指す教育課程や全体的な計画に基づき、全職員の共通理解と協力体制の下に教育・保育を展開する。 ② 一人一人の子どもの発達や学びに必要な経験が得られるよう、ねらいと内容を明確にした指導計画を作成し、意図的・計画的な環境の構成と関わりの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 園長等のリーダーシップの下、全職員による学校（園）評価等を計画的に実施し、その情報を積極的に公表するとともに、家庭や地域社会と連携し、園運営の改善・充実を図る。 ② PDCAサイクルを機能させた教育・保育の実現に向け、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に具体的な子どもの姿を通して評価し、指導計画の見直し及び改善を図る。
2 教育・保育の充実	(1) 自分の世界を広げ自立できる子どもの育成	(2) 豊かな心と健やかな体の育成
	<ul style="list-style-type: none"> ① 生きる力の基礎を培うため、養護の行き届いた環境の下、生活や遊びを通して育みたい資質・能力を一体的に育む。 ② 「乳児から始まるキャリア教育」は日々の教育・保育そのものであることを踏まえ、身近な人と関わる楽しさや、役に立ったり認められたりする喜びなどを味わうことで、様々な活動に意欲と自信をもって自ら取り組もうとする気持ちを育む教育・保育の充実を図る。 ③ 子どもが主体的に環境と関わり、興味・関心を抱いたことに存分に取り組む中で、試行錯誤したり、経験したことを生かしたりする姿を支える教育・保育を通して、“「問い」を発する子ども”の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 五つの領域のバランスを考慮し、心身の調和のとれた発達を促す総合的な教育・保育を展開する。 ② 子どもを独立した人格をもつ主体として尊重するとともに、信頼関係に支えられた生活を基盤として、他者への信頼感と自己肯定感が育まれるような環境を整える。
3 子育て支援の充実	(1) 保育者の専門性や、園の特性を生かした子育て支援	(2) 家庭や地域と共に子ども一人一人の育ちを支える子育て支援
	<ul style="list-style-type: none"> ① 保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びを感じられるよう、子どもの育ちについて家庭との共有を図るなど、保育者の専門性や園の特性を生かした支援に努める。 ② 家庭の実情に応じた支援を推進するために、関係機関との連携及び協働を図り、園全体の体制構築に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 子ども一人一人が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、家庭や地域と共にその成長・発達を支える。 ② 特別支援教育コーディネーターを核とした園内支援体制を整え、個別の教育的ニーズを把握するとともに、家庭や関係機関と連携し、より適切な支援ができるように努める。
4 保育者研修の充実	(1) 信頼され魅力ある園と保育者を目指す研修	(2) 今日的な課題に対応するための研修
	<ul style="list-style-type: none"> ① 園の課題を共通理解し、全職員の参画意識を高め、組織的・計画的・継続的な研修の充実を目指す。 ② 秋田県教職キャリア指標（保育者）を踏まえた体系的・計画的な研修を通して、保育者としての資質及び専門性の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育・保育の質の向上に向け、園の重点目標や研究テーマを設定し、それらに迫る計画的な園内研究に努め、評価・改善を通して次年度につながる組織的な体制を構築する。 ② インクルーシブ教育システムの理念の下、個別の教育的ニーズのある子どもの理解と、合理的配慮を踏まえた教育・保育について全職員の理解を図る研修を推進する。